

☆ 高浜町

議会だより

トピックス 2~3ページ

議会構成表 4ページ

議会出前報告会 ... 14~15ページ



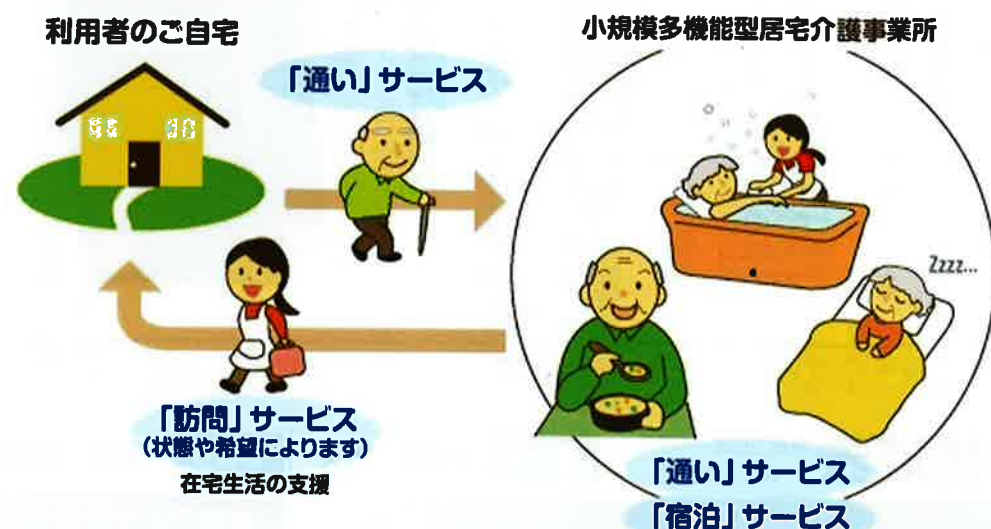
七年祭「奉納祭」で活躍する子ども達の勇姿

第115号

「通い」を中心に「訪問」と「泊まり」を組み合わせたサービスの提供

介護が必要なお年寄りが、施設に通って介護サービスを受けながら、お年寄りの体調や介護する家族の事情に併せて、必要な時には、自宅での訪問サービスを受けたり、短期間の宿泊による介護を受けることができる「小規模多機能型居宅介護事業所」を民間事業者が和田地区に開設します。

この事業者に対し3,300万円の補助金が予算化されました。この補助金の財源は全額、国の交付金で造成した基金(県が管理)から支出されますので、県・町の財政負担はありません。



議会での質疑

Q 小規模多機能型居宅介護事業所がサービスを提供する範囲は。

A 高浜町内の介護が必要な高齢者を対象にサービスを提供する施設であり、地域限定で地域に根差した介護サービスを提供する施設である。

TOPICS

「小規模多機能型居宅介護事業所」
開設補助金3300万円を予算化

6億2,480万2千円が一般会計に

平成20年12月に公益法人改革関連三法が施行され、従来の財団法人は平成25年11月31日までに

- ① 公益財団法人に移行する
- ② 一般財団法人に移行する
- ③ 解散をする

といういずれかを選択しなければならなくなりました。

解散した場合、特定目的の基金を造成すればその事業の財源とすることができ、残余財産を町に寄付することが最も設立目的に沿う利用ができるため解散を選択されました。

今定例会の一般会計補正予算で、水産振興基金5億2,235万8千円。高浜漁協の支所事務所棟更新費用として8,676万4千円(和田支所・内浦支所建設費、音海支所・小黒飯支所設計費)。なお、音海支所・小黒飯支所は26年度に建設予定です。さらにこれまで公社が行ってきた事業費1,568万円。計6億2,480万2千円が追加補正されました。

議会での質疑

Q 燃油高騰対策として、公社から60円を超えた場合上限20円の助成、一般会計から80円を超えた場合上限5円の助成を行ってきたが、今後は基金から上限25円の助成を行うのか。

A 全額基金からの補助という事になります。

Q 養殖支援事業について、発電所停止により温排水が発生していないが影響は出ていませんか。

A シマアジの養殖に影響があり被害が出ています。その他の魚種には大きな影響はありません。

Q 各支所の更新後は町の所有になるのですか。

A 発注業務などの事務手続きは代行して行いますが、漁協の建物になります。



老朽化が著しい高浜漁協和田支所

TOPICS

(財)高浜町水産振興公社解散、財産は町に

TOPICS

青郷保育所リニューアル

請負金額 2億2万5千円

請負業者 高浜町中山50号22番地5
山惣ホーム株式会社
代表取締役 山本 篤

工期 着工・平成25年6月19日
完成・平成26年3月20日

工事概要 建築・増築・改修
電気設備・機械設備改修

構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
建築面積 1,187㎡

工事内容

- ① 保育室…廊下部分を増築し可動式間仕切りとし、保育室としても活用出来るよう拡充する。乳児室に床暖房を取り入れる。
- ② 遊戯室…ステージを収納式とし活動スペースを確保する。
(保育室・遊戯室冷暖房整備)
- ③ 調理室…ドライ床とし施設、設備等を整備充実し衛生面の向上を図る。
- ④ 外構工事…プール(27㎡)新設、外遊び足洗い用に温水シャワーを設置する。
- ⑤ その他…玄関スロープ、医務室、和洋トイレ等の整備・充実を図る。

プール(水遊び場)も新設されます

議会での質疑

Q 工事期間中の保育は

A 西地区体育館を仮設保育所とし、体育館の間仕切り、仮設プレハブで保育業務に当たる。冷暖房を整備する。



全面改修される青郷保育所



副議長就任のご挨拶

副議長 磯部 武史

5月9日の臨時議会で、新たに副議長に就任させていただくことになり、その責任の重さに身が引き締まる思いです。

議長の補佐役として、議会の公正かつ円滑な運営に誠実に取り組む所存であります。

2年という任期中には、新庁舎・公民館の建設、高浜発電所の再稼働問題など大きな課題があります。

情報を発信し、町民の皆様の多様な意見が反映されるよう務めてまいります。

町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

本会議での質疑・討論

質疑 議案第43号

平成25年度高浜町一般会計補正予算（第1号）

栗野明雄議員

農林水産業費で漁協支所の事務所棟の建設は賛成であるが、漁獲高を上げる調査研究も大切である。県などの調査機関や大学との連携はどのような形になっているのか。

まちづくり課長心得

トラフグ、マダイ等の養殖、ヒラメ、アワビの中間育成放流、サザエ、赤貝、ナマコ等の種苗放流について、県と連携を図り事業を進めている。水産振興の方向性や6次産業化による漁業者の所得向上等について福井県立大学による漁場・藻場の再生について勉強会を実施している。

質疑

議案第46号

高浜町水産振興基金条例の制定

上尾徳郎議員

水産振興公社が解散に至った経緯と、基金運用事業と町や国・県補助事業

一のかかりについて

まちづくり課長心得

公益法人改革により、水産振興公社は保有している財産を今後も漁業振興に役立てるために、解散を選択した。

今後公社からの寄付を財源に、国・県の補助事業に該当するものであれば町負担分に基金を充当し、規則に規定する事業に該当しないものは、一般財源で対応する。

質疑

議案第47号

高浜町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

渡辺 孝議員

地方自治の判断に委ねられているのに国から指示があったのか。

総務課長

指示はないが、県内8町の課長会の中で検討し判断した。

小幡憲仁議員

なぜ最終日にこの議案を上程したのか。時間的余裕が無く慎重な審議が出来ないのではないのか。

高浜町議会構成表

平成25年
5月9日現在

議長 的場 輝夫

副議長 磯部 武史

■常任委員会

総務産業 7人

・委員長 栗野 明雄
・副委員長 横田 則孝
・委員 大塚ひとみ・小幡 憲仁
西出 秀雄・井ノ元 康夫
的場 輝夫

厚生文教 7人

・委員長 上尾 徳郎
・副委員長 廣瀬とし子
・委員 清常 光洋・勝本 繁昭
渡邊 孝・磯部 武史
山本 富夫

予算決算 13人

・委員長 山本 富夫
・副委員長 横田 則孝
・委員 議長を除く全員

■議会運営委員会

議会運営 6人

・委員長 勝本 繁昭
・副委員長 井ノ元康夫
・委員 上尾 徳郎・山本 富夫
栗野 明雄・西出 秀雄

■特別委員会

原子力対策 13人

・委員長 大塚ひとみ
・副委員長 上尾 徳郎
・委員 議長を除く全員

鳥獣害対策 7人

・委員長 井ノ元康夫
・副委員長 清常 光洋
・委員 磯部 武史・勝本 繁昭
渡邊 孝・横田 則孝
山本 富夫

地域医療・福祉問題調査 6人

・委員長 廣瀬とし子
・副委員長 大塚ひとみ
・委員 上尾 徳郎・栗野 明雄
小幡 憲仁・西出 秀雄

広報 6人

・委員長 大塚ひとみ
・副委員長 井ノ元康夫
・委員 清常 光洋・小幡 憲仁
磯部 武史・勝本 繁昭

若狭消防組合 議会議員

廣瀬 とし子・横田 則孝
勝本 繁昭

嶺南広域行政組合 議会議員

栗野 明雄・西出 秀雄

福井県後期高齢者医療 広域連合議会議員

的場 輝夫

高浜町監査委員

小幡 憲仁

副町長

県内8町で足並みをそろえ対応するためである。

山本富夫議員

国が給与の基準を決めるのであれば、次の段階で高浜町の若年層の比率の基準を上げていけないのか。

副町長

県内でも高浜町は低いですが、人事評価をしているし、住民の方から基準を上げる事を納得してもらえないよう今後努力する。

討論

請願第2号

非核平和都市宣言

賛成討論

渡辺 孝議員

わが町も非核平和都市宣言をするべきであり採択すべきである。

【賛成少数で不採択】

討論

陳情第1号

食料自給率50%達成目標の設定及びTPP参加を行わないこと政府に強く求める意見書

賛成討論

渡辺 孝議員

一旦参加すれば守るべき物が守

れなくなるためTPP参加を行わないよう意見書提出に賛成する。

【賛成少数で不採択】

討論

陳情第4号

TPPから食とくらしのいのちを守る要請

賛成討論

渡辺 孝議員

農業・国民のくらし・制度・成り立ちを守るために賛成する。

【賛成少数で不採択】

討論

議案第47号

高浜町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

反対討論

渡辺 孝議員

人事院制度を無視しそれを上回る賃下げをしていることは、二重の憲法違反であるので反対する。

賛成討論

栗野明雄議員

国の政策がしっかりしていれば東日本大震災の復興財源は確保出来たと思う。矛盾をはらんだ内容であるが町益を考え賛成とする。

【賛成多数で原案可決】



舞若道四車線化の要望を

答弁 重要な課題と理解

栗野 明雄 議員

【栗野】

舞若道が平成26年には開通する。これは片側一車線であるので、不十分である。用地も取得済みである。四車線なら原子力災害の避難道路としても有効である。次に向かって行動をするべきである。

【町長】

舞鶴西ICまで平成32年の完成に向けて推進している。産業振興、文化交流、災害時の避難道路として重要であり、要望活動が続ける。

◆新音海トンネルに

自転車専用スペースを

【栗野】

原子力避難道の位置づけで、音海から発電所正門前までのトンネルが予定されている。車道は片側一車線、歩道は75センチの幅である。これでは危険である。自転車用スペースを確保すべきである。

【建設整備課長】

これまでより広くなり安全性は保てる。

この整備はバイパス道路の整備である。自転車は旧道の方が安全である。

◆福井国体への対応は

【栗野】

平成30年の福井国体では、高浜町でトリアスロンとセーリングが開催される。会場整備など対応状況を問う。

【教育長】

セーリングの会場は「若狭和田マリナ」を再整備して使用する計画である。トリアスロンは、安土の埋め立て地を発着点とする案を採用し、中央団体の視察を受ける。その結果を受け整備したい。



ライフセーバーに対する行政支援の強化が必要

答弁 前向きに検討する

小幡 憲仁 議員

【小幡】

海水浴客の水難事故防止の強化のため、ライフセーバーによる監視活動の強化が必要。行政の支援強化の考えはないか。

【まちづくり課長心得】

日赤との連携や若狭和田ライフセービングクラブのメンバー強化が図られるよう協議を進め支援策を検討する。

◆風疹の予防対策について

【小幡】

風疹が全国的に流行している。妊婦が患すると赤ちゃんに先天性風疹症候群が発症する。予防対策の強化が必要であるが高浜町の取り組みを問う。

【保健課長】

母子手帳発行時にリーフレットを配布し、注意喚起と周囲の家族等への予防接種を促している。今後、風疹の発生状況を注視しつつ、近隣市町とも連携し、風疹の任意予防接種の公費助成を検討する。



若狭和田ライフセービングクラブ

◆社会福祉協議会の移転について

【小幡】

社会福祉協議会の事務所を、保健福祉センターから緑ヶ丘へ移転させる計画があると聞く。移転の目的や必要性、時期などを問う。

【副町長】

緑ヶ丘の事務所が改修時期を迎えており、その改修内容と併せて、具体的な計画を今後2～3年かけて検討する。



坂田グリーンタウンの分譲促進策は

答弁 民間の営業力を検討中

清常 光洋 議員

【清常】

平成16年4月より分譲開始の「坂田グリーンタウン」について、分譲地総区画数60区画の内、これまでに32区画が分譲され、残りが28区画と報告がなされている。

分譲価格については、当初の分譲価格1㎡・42、300円から、現在は1㎡・31、000円と約26・7%の値下げをし分譲されている。価格値下げと併せて、次の3項目について検討する考えはないか。

①スクールバスの運行

【教育委員会事務局長】

町内全地区との関連もあり困難。

②高浜建築モデルハウスの建築（地区の集会所として活用）

【総務課長】

高浜建築のモデルハウスは具体的なものがない。またモデルハウスは集会所としては、間取り等で適さないと考ええる。



③鳥獣害の恒久柵の設置
【まちづくり課長心得】
各地区の広域連携の協議が熟成された時点で考えている。

現在検討中の事項

【総務課長】

国土交通省が定めた「一般媒介契約約款」を基に、地元不動産業者と宅地販売委託契約を締結し、民間の営業力により分譲地の販売を進めていきたいと考えている。

砕導山城(妙見山)を高浜のシンボルとして整備しては

答弁

コンパクトシティ計画進捗を見ながら多面的機能で整備検討

山本 富夫 議員

【山本】

砕導山城(妙見山)は、遠く1800年以上昔に創建されたとされる佐伎治神社、愛宕神社、妙見宮と高浜の歴史的にも大きな財産である。その歴史に大きく名を残すのが永禄4年(1561年)逸見駿河守昌経が死守した砕導山城である。敗退後に、高浜城(現城山公園)を築城したのが語り継がれている高浜史跡である。この山を歴史のシンボルとして山道整備、又津波対策などの防災対策。整備による獣害対策も可能であるが見解を。

【町長】

高浜地区のシンボルとして親しまれた歴史的背景、妙見山の散策道は歴史、観光、獣害対策、防災等多面的な魅力と可能性を有しているが、現時点で新たに整備をし、行政側ですべて維持管理を継続していくことは費用面での負担が大きいと感じる。様々な整備事業が集中する時期でもあり、少し時間

【防災安全課長】

今回の施設改修については、東京電力福島第1原子力発電所の原子力災害を踏まえ、原子力災害が発生した場合、避難に時間を要する半島部や、発電所の半径5km圏内にある病院、老人施設などの要援護者施設を対象として、放射線防護機能を加えることにより、一時的な屋内避難施設を確保することを目的に、国の原子力災害対策整備補助金(10/10)を受け行なうものである。8月設計完了後3月完成予定。福祉施設や音海地区民の集える場所に活用する。



はまなすパーク(東三松) 海水浴場トイレ整備は

答弁 改修整備に取り組む

廣瀬 とし子 議員

【廣瀬】 はまなすパーク海水浴場に公衆トイレが3箇所設置されているが、トイレに入るには3段の段がある。障害者の方や高齢者の方が安心して利用することが出来る、バリアフリートイレが必要では。

【まなすパーク課長心得】

はまなすパークは、面積も非常に広く来訪者も多いことから、バリアフリー対応のトイレ整備が必要な海水浴場である。公衆トイレは数も多く、また建設年度も古く老朽化も激しい箇所が多数ある。軽微な修繕はその都度対応している。バリアフリー化を含めた改修の年度



◆町職員の休憩室について

【廣瀬】

町職員は現在、昼食時休憩室が無く各自のデスクで食事をする職員を見受ける。その時間帯に住民の目にはどう映るか。休憩室を設置する考えはないか問う。

【総務課長】

以前は、職員が昼食を取る場所として、庁舎2階に50名程度が座れる食堂があった。昭和60年の改修工事の際に食堂を廃止し、事務デスクで昼食を取る現在のスタイルである。昼の休憩時間にも来庁者の多い住民課では、輪番制で窓口業務に対応している。手狭となっている現庁舎では、確保出来るスペースがない。新庁舎には休憩室が必要である。



介護施設利用料の軽減を

答弁 低所得者軽減措置ある

渡辺 孝 議員

【渡辺】 「低所得でも入所できる介護施設を整備してほしい」という切実な声がある。考えを問う。また、特別養護老人ホームの利用料は8割近くが「居住費」と「食費」である。町独自の助成で負担を軽減できないか。

【福祉課長】

低所得の施設利用者には「食費」、「居住費」に対して負担軽減措置されている。今以上の軽減措置は介護保険料の増額につながるし、町独自の補助も財政的に困難である。しかし低所得者対策は次期の「介護保険事業計画」の重要な検討課題と考えている。

◆就学援助事業について

【渡辺】

平成25年度国家予算は生活保護費を大幅に削減した。これは市町村の就学援助事業にも連動する。町の「基準額」を見直し、影響のないようにすべきではないか。ま



東京電力福島第一、 第二原子力発電所

議会では4月中旬、東京電力福島第一、第二原子力発電所を事故後初めて視察したので報告します。

■福島第一原子力発電所

福島第一では建屋内の見学はできないので、バスで1〜4号機の建屋を外から見学しました。防護服や全面マスク着用の見学かと思像していましたが、実際は市販の手袋・マスクに靴カバー装着だけの簡易なものでした。

水素爆発した1、3、4号機では瓦礫の撤去が進み、1号機は建屋カバーが設置され、4号機は燃料プールの燃料を取り出すための鉄骨の巨大な構造物(写真)を建設中でした。



4号機の鉄骨構造物
(今後、燃料取出しクレーン等が設置される)



原子炉圧力容器の直下(ここは福島第一では溶けた燃料が落下し堆積していると推定される場所)

福島第一、第二とも所長以下みなさんが活気にあふれていたことが印象的でした。また、非常に丁寧に対応いただき感謝いたします。



「庁舎公民館」への町民の関心が低いのでは

答弁

現実をふまえ「小田原評定」にならないよう取りまとめる

上尾 徳郎 議員

【上尾】

「高浜町立公民館設置及び管理に関する条例」の中央公民館の扱いと、新設高浜公民館との関係は。

【教育長】

現行の中央公民館の総括的な事務は、教育委員会事務局内に公民館担当の総括職を設け、町内4公民館の連絡調整し、新設公民館は主に高浜地区を対象の事業に専念する。関係条例も改正の予定。

【上尾】

現在、教育会館で活動又、利用されている団体の扱いは如何なのか。

【教育長】

新設公民館や他の公民館また、新庁舎会議室などを活用して頂くが、新公民館には館長、公民館主事、事務員の3名を配置し高浜地区の公民館活動を優先に、公民館の管理運営に専念する。

◆空き家対策とまちなか居住について

【上尾】

空き家の実態調査がされたが、

【建設整備課長】

その現状と目的は。
基礎となる空き家の現状を正確に把握するため町内56区を対象とし、平成24年度に9地区を調査し、残り47地区を調査中。老朽危険家屋も含めた正確な空き家の実態を把握する予定。

【上尾】

空き家を利用した町営住宅の整備と居住推進の助成制度。家屋密集地域での2世代家族が同地区内で居住の際、空き家利用や住宅改修の助成制度の検討は。

【建設整備課長】

空き家活用の中で空き家改修の助成制度は、非常に効果の高いものである。指摘の制度も含め様々なパターンで活用に繋がる制度を、町内建築業の活性化も図りつつ、空き家対策協議会等の組織を9月頃を目途にして立ち上げを検討している。

予算決算常任委員会

委員長 山本 富夫

議案第43号
平成25年度高浜町一般会計
補正予算

補正予算総額、歳入歳出それぞれ10億2170万1千円、予算総額の約90%が水産振興費であった。その要因は、(財)高浜町水産振興公社が、平成20年12月に公益法人改革関連三法が施行され、本年11月30日を期限に公益法人、一般法人への移行か、解散を選択することとなり、同公社は解散を選択したことにより公社財産6億2575万5千円を高浜町に寄付するものである。その内容について集中審議をした。

【審議(質疑)の概要】

◆総務費

地域主導型再生可能エネルギー等、事業化促進事業補助金130万円の事業目的やコストはどうか

県のエネルギーコリドール事業の一部としてソフト事業補助金(事務費50万円)で未利用間伐材

総務産業常任委員会

委員長 栗野 明雄

◆議案第46号

高浜町水産振興基金条例

漁協の運営に補助を出さないか

支援体制を検討し、6次産業化を図りたい。

【全員賛成で原案可決】

◆請願第2号

「非核平和都市宣言」採択について

【賛成者無く不採択】

◆陳情第1号

食糧自給率50パーセント達成目標の設定及びTTP参加を行わない事を強く政府に求める意見書

【賛成者無く不採択】

◆陳情第3号

食料・農業・農村の発展に向けた要請

【全員賛成で採択】

◆陳情第4号

TTPから食とくらし・いのち

などの処理目的とした地域対策を考え、嶺南全体とした量で竹材を含めた処理方法と、コスト等を含めた再生エネルギーを検討する。

公用車(超小型EV車)購入費50万円で結果によっては台数を増やすのか

実証実験の状況をみて検討する。



今年度購入予定のEV車(試乗会)

有線放送施設道路占用物件点検業務委託料100万3千円についての内容

対策箇所は3ヶ所のトンネルで、止め金具はケミカルアンカーで固定してある。目視検査や打音検査で早急に診断する。

◆民生費

介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金3300万円で、小規模多機能型

居宅介護事業として県からの補助金であるが町単独はないのか

介護施設整備事業の補助金はあがるが、今回の小規模多機能型居宅介護事業への補助金は考えていない。

◆衛生費

地域医療推進事業補助金412万2千円についての内容

研修医の増員に伴い民間アパート宿泊費補助と、今回、高浜病院の「耳鼻科」開設に伴う施設改修費用の補助である。

◆農林水産業費

漁船の燃油補助についてはどうなるのか

今年度は、60〜85円まで25円分を燃油対策分として計上。財源は公社からの寄付金を充当。

水産振興一般事務事業で各支所事務所棟8676万4千円は、建設費用、発注業務と所有者はどうか

建設費は、10分の10の補助で公社からの寄付金。町が発注業務を代行するが所有者は漁業協同組合のものである。

厚生文教常任委員会

委員長 上尾 徳郎

◆議案第44号

平成25年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算

【全員賛成で原案可決】

◆議案第45号

平成25年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算

和田診療所研修医受け入れに係る経費、週2回1000日計500万円である。関連質問で診療所の医師の勤務体制、研修医の状況や高浜病院との関連、今後研修医が高浜に勤務する可能性はあるのかなどの質問や意見があった。

【全員賛成で原案可決】

◆請願第1号

子供・子育て支援制度の見直しを求める意見書提出を求める請願

【継続審査】

◆陳情第2号

年金25%の削減を求める陳情

【継続審査】



高浜応援プレミアム商品券

旧水産振興公社分の補助事業と町の一般会計からの事業補助があるが、今後の事業の見直しについてはどうか

事業が重複しないように平成26年度より全体で見直しを行う。

◆消防費

原子力災害住民避難計画策定支援業務委託料412万7千円について、業者に丸投げにならないように実情にあった計画にすべきでないか

住民アンケートやパンフレット等の作成委託であり、計画内容については担当課内で十分に検討して取り組む。

◆教育費

食育推進事業補助金40万円についての内容

県内で鯖江の河田小学校と青郷小学校が指定校として認定され栄養教諭同士がお互いに交流をしながら地産地消の食育推進を図るものである。

以上、委員会の審議内容を慎重審議の結果、

【全員賛成で原案可決】

教育委員会所管の主要事業予定
教育委員会が所管し実施中の小学校空調設備・トイレ改修など6事業(夏休み中に実施完了)や発注準備中の11事業の概要説明を受けた。

平成24年度実施された高浜中学校のプール改修工事と中央体育施設擁壁改修工事の完了報告を受け、現地視察を行い完成現場を確認するとともに、中央体育施設擁壁改修工事次期着工予定の進入路設置の現場を確認した。



リニューアルした高浜小学校プール

地域医療・福祉問題調査特別委員会

委員長 廣瀬とし子

高浜町の住民が安心して医療・福祉をうけられることを目指し、福祉問題の充実を図る為に、「地域医療・福祉問題調査特別委員会」を立ち上げ議員6名で構成して活動する。

福祉課長・課長補佐・保健課長・課長補佐・地域医療推進室2名出席のもと、取り組みについて説明を聞き、意見交換を行った。

福祉課の業務について

●介護保険（対象年齢40歳以上）に関すること。・介護保険料の査定・徴収・介護サービスが必要になった場合（介護認定の後、サービスを受ける時）

●地域包括支援センターに関すること。・介護予防（介護保険サービスを使わない方が今後介護状態にならない為の予防）一次予防では「元氣あつぷ倶楽部」・介護予防（介護認定され支援により今後介護が重症を防ぐ為の予防）・在宅介護支援センターの業務・認

知症予防・高齢者相談・高齢者虐待・権利擁護・事業所との連携及び支援・町全体として、地域の福祉ネットワークづくり、地域包括ケアに関すること、高齢者の住みよい地域づくりのための住民同士や関係機関のネットワークづくりである。福祉関係は幅広い為、協議をしながら活動をする。

保健課の業務について

・母子保健（成長の確認、相談、指導、療育相談、支援）妊娠から就学まで、要フォロー者など来所・訪問フォローも相談に当たる

・子育て支援（健やかな子育て、育児不安の解消、仲間づくり、虐待対応（要保護児童対策地域協議会）と相談する。・予防接種・予防接種法に基づいた定期の予防接種の実施・成人保健・早期発見、健康の維持増進、生活習慣病予防・（特定健康診査・特定保健指導）・町の健康づくりでの、たかはま健康づくり10か条の説明も詳しく聞くことが出来た。

今後の取り組みとしては障がい者福祉問題について話を聞く予定である。

鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

5月の組織編成で新たな委員が選ばれ、今後の対策について、高浜町4地区の区長会長、農家組合長、団体では農業委員会、猟友会の代表者、シルバー人材センターの担当者が出席して意見交換を行った。担当課より今年度の獣害対策について説明を受け意見聴取を行った。

獣害対策では、「追い払い」「囲い込み」「捕獲」が重要であることから、出席者からは、花火などのサル追い払いは、時期により火災の原因になるためゴムパチンコでの追い払いを行っている。ゴムパチンコの購入補助を要望する意見が出された。

「囲い込み」では、シカの被害が今後増大することは必至で、おい町のような恒久柵の設置要望が多く出された。

「捕獲」では、適正な時期に確実な餌づけの方法を指導し各団体連携をとって計画的な捕獲が重要であるなどの意見が出された。

担当課からは、現在おい町で進んでいる恒久柵を、高浜町に置き換え試算する必要がある事は認識している。また地元負担で事業を行った地区もあり慎重に判断する必要がある。負担金を出来るだけ少なくする方法を検討し、ハード・ソフト両面を考え各団体の方も工事費削減のために今後御検討頂きたいなどの考えが示された。

委員会としては農業被害だけの問題ではなく、また地域により温度差がある。生態系を考えながら各団体連携をとりながら計画的に対策を行っていくことが重要である事を確認した。



追い払い用具（ゴムパチンコ）

原子力対策特別委員会

委員長 大塚ひとみ

高浜町地域防災計画

『原子力防災編』

防災安全課長より、遅れていた地域防災計画の最終案がほぼまとまり、7月中には委員会にかけ発表したいが、その前に当委員会において原子力防災編の説明をした。いとの提案があり、説明を受けた。災害が発生してから実際の事象3段階に至るまでの流れ、それに伴う対策等の概略、計画の見直しの概要、また原案、安定ヨウ素剤の予防服用について説明を受け、その後質疑、意見交換を行った。

委員からの質疑・意見・要望

もし道路が寸断され使えない場合はどういった避難をするのか

想定はしていないが、複合災害の対策は必要と理解している。今後検討課題としたい。

自主防災組織との関連は

一般災害、津波、風水害、台風等に対応する組織であるが、要援護者の避難には特に協力依頼をする。

・訓練が一番大事である。
・災害はいつ起こるか分からない。計画は急ぐべき。
・国や県がどうであれ、高浜町独自の実行性ある計画を立ててほしい。
・SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）の情報の共有だけはきちつとしてほしい。

実用発電用原子炉に係る

新規制基準（案）

原子力規制庁地域原子力規制統括管理官の森田深氏より、7月の施行まじかの新規制基準（案）について概要など説明を受けて後、質疑、意見交換を行った。

委員からの質疑・意見・要望

・規制委員会のメンバーの構成、あり方、信頼などについて
・規制委員会は20～30人の学者とあらゆる角度から議論すべき。
・ストレステストの結果報告書はどうなったのか。
・福島第一原子力発電所事故がまだ終息していないのに、新基準の施行を何故急ぐのか。などの意見が出された。

若狭消防組合議会

委員 大塚ひとみ

第161回 若狭消防組合議会

定例会

会期日程

2月13日から3月26日の42日間
・若狭消防組合松崎晃治管理者より議案3件が上程
・若狭消防組合議会 清水正信議員より議案第4号提出

地方自治法の改正に伴い、議会本会議における公聴会の開催、参事人の招致を可能とするため、合わせて所要の改正を行うと説明。

議案第4号

若狭消防組合議会会議規則の一部改正

【全員賛成で原案可決】

議案第1号

平成25年度若狭消防組合一般会計予算

歳入歳出予算総額はそれぞれ13億2981万6千円とする。
主な事業として、消防ポンプ自動車購入事業として、高浜分署の災害対応消防ポンプ自動車更新配



高浜分署に配備予定の災害対応消防ポンプ自動車

備に3000万円、高規格救急自動車購入事業に3100万円、消防救急無線デジタル化整備事業に1900万円、消防団車両等購入事業に2835万円など、「防災・災害対応力の強化」を重点施策として予算編成。

議案第2号

若狭消防組合消防団員の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部改正

【全員賛成で原案可決】

議案第3号

若狭消防組合職員定数条例の一部改正

【全員賛成で原案可決】

第4回

町議会
出前
報告会

開催しました!!

■議会出前報告会で出されたご意見と報告会での対応

の設置。

●公有水面埋立地にメガソーラー発電の計画があるが、着工時期はいつか、どれぐらいの規模なのか。

回答 平成26年度に着工の予定で500キロワットと聞いている。

●プレミアム商品券について、飲食店でも使えるのか。

回答 飲食店組合に登録されている店での使用は可能。

●旧音海小中学校の改修費に1億7610万円の内容は。

回答 県の補助金で、旧音海小中学校の放射線防護機能（核シールド）の向上のための事業。具体的には玄関や窓ガラスの防護対策、フィルター付空調設備

●コンパクトシティ、役場移転については聞いているが、漁港についてはどうか。また事代地区として会館の改修を保留にしている状態だが事代会館の移転については。

回答 基本計画は財政の目途がついた時点で調査していく予定。

①庁舎・公民館設計の段階で町民の意見、提言が必要。その為に5月28日にワークショップを開催。基本設計・レイアウトの変更など、意見が反映される状態である。

②漁港・城山 国の交付金の状況次第である。

は研修中である。どの事業でもリスクはあるが、前向きに考えるほかにはない。この7月～8月にかけて作業が始まる予定。

●鳥獣被害が多くて困っているが、どこにかならないか。

回答 今回車持地区で被害対策をされる。補助金制度の説明もする。

■行政に対する意見・要望

和田海水浴場の砂を移動するのに毎年1千万円かけている、10年以上になるが真剣に考えてほしい。低所得高齢者のための介護施設を考えてほしい。例えば旧音海小中学校の利用。

■議会出前報告会に関する意見、要望、改善点

- ・出前報告会を休日前の夜のほうが都合が良い。
- ・出席者が少ない。
- ・時期について検討して欲しい。
- ・議員と親しく話し合えて有意義であった。
- ・回数を重ねることが大事である。

活発な意見交換を行い、多くの貴重なご意見をいただきました!!

平成25年5月16日、17日に、第4回目となる高浜町議会の出前報告会を開催いたしました。今回の出前報告会では、過去3回の結果を踏まえて、出来るだけ参加された住民の方々と議員との意見交換に多くの時間を割いて運営するよう努めました。あいにく今回は高浜地区の七年祭行事と重なり、参加者が前回よりも少なくなりましたが少人数ながら貴重な意見交換がどの会場でもでき、議会としての回答も含め報告いたします。



5月16日 保健福祉センター



5月16日 内浦公民館

光資源もあり、これからも俗化しない観光地として取組んでいく必要がある。ログハウスの駅舎も売物となるのではないか。

回答 貴重なご意見として承る。駅の維持管理は必要であることは承知している。

●国道27号線の青葉トンネル（吉坂）の改修については。

回答 福井県（知事）は重要施策としているが、京都府（知事）・舞鶴市は市内での優先工事は別の事業であり、優先施策として取組んでいない。原子力防災の面からも高浜町・福井県は、機会ある毎に、国・国会議員に強く要望しているところであり、我々町議も近日中に舞鶴市の議員と協議を行なう事となっている。現在のトンネルの改修でなく新しいルートで計画されると聞いている。

●大規模ハウスを建設しトマト栽培をされますが、雇用はどこまであるのか。また、採算がとれるのか、もし採算が取れない場合は、施設はどうなるのか。町税で補填されるのか。

回答 県が農業者を育てたい思いで支援等行い、現在農業者



5月17日 高浜文化会館



5月17日 青郷公民館

い、親切的な対応をしていくと聞いている。

●青の里の予算の見直しと農業研究生の緊急雇用については

回答 事業内容の一部修正を求め予算を可決。緊急雇用については今年度以降町費として検討する事を確認している。

●青郷駅の切符販売の廃止については、売上げとのバランスを考えれば、今の20倍の売上げは必要と考えるが、維持管理の手立ては必要である。駅の利用者は国内、例えば県内は元より千葉県、石川県等、外国人では台湾、シンガポール等も利用されている。観光資源として青葉山・青少年旅行村、中山寺、三国岳等俗化されていない観



佐伎治神社にて

町外の方々に

インタビュー 決行

7月1日

舞鶴市字引土 田中さん
友達に誘われて2回目。
町中で太刀振を見てきたが
勇壮だった。芸能の保存・
継承が大変だと思う。町の
中が空っぽになって、泥棒
が入らないかと心配。

7月1日

福井市中角町 西山ご夫妻
一度見たいと思って…。
ボランティアで航空写真を
撮っているが、当町の写真
を届けたいと城山荘に泊ま
りがけで来ました。

7月6日

香川県丸亀市 匿名希望
親戚があり2回目。
430年維持するのが大変
だろうが、この神輿をみる
とワクワクドキドキ、なか
なか迫力があり素晴らしい。
楽しんでいます。

7月6日

福岡県飯塚市 津山ご夫妻
初日と最終日のみ。間に長野
県に旅行をして車で来ました。
今年で2〜3回目ですがすごい
です。1万1千人ほどの町で、
こんな祭が出来ると素晴ら
しい。神輿が練り歩いている
時、古代からのいしえを感じ
る。また、アマダイ、ふぐ、元
禄餅、へしこにもろみ…美味し
いものがいっぱい。今日は親戚
に泊まります。



編集後記

六年に一度の大祭が盛大に、そ
して無事に終わりました。本当
にお疲れ様でした。そしてありが
とうございました。

高浜地区の皆さんの祭りにかけ
る誇りやDNAを感じました。祭
りが終われば夏本番に突入です。
今号から、写真がカラフルにな
りました。新メンバーとなり心新
たに、一人でも多くの方に手に取
って頂ける紙面になるよう頑張り
ます。

文責 大塚ひとみ
広報特別委員会

委員長 大塚ひとみ
副委員長 井ノ元康夫
委員 清常 光洋
磯部 武史
小幡 憲仁
勝本 繁昭